

小田野中央公園まちづくりの会「第2回総会」が開催されました。

平成21年5月26日(火)東京都八王子福祉園(事務局)を会場に、第2回まちづくり総会が開催され、「平成20年度事業報告及び決算報告・監査報告」並びに「平成21年度事業計画及び収支予算」が承認されました。

今年度の主な活動内容

地域活力づくり(多世代が一同に集えるイベントの企画・運営、コンサート、親子ふれあいスポーツ大会、さくらまつりの開催等)

防犯・防災(地域が連携した安心・安全なまちづくり活動、地域総合防災訓練への参画)

青少年育成(元木小総合学習花壇の手入れ、恩方中学校生徒会公園調査等)

環境保全(剪定、清掃、除草、ごみ拾い、公園パトロール、トイレ管理等)

まちづくりの会は、八王子市との市民協働事業です。公園づくりで培った地域ネットワークを基盤に、地域の多くの団体・個人が会員となって組織されています。公園を拠点として、顔の見える人と人のつながりを大切にしながら地域で支えあいのまちづくり活動を行っています。どなたでも会員になれます。多くの方のご参加をお待ちしております。【事務局 芝敏子】

八王子市立元木小学校3年生が公園づくりに参加しています。

元木小学校では、毎年3年生総合の時間で小田野中央公園づくりに参加しています。平成20年度の活動では、4月30日に小田野中央公園に行き、歴代の3年生がしてきた活動や公園作りについてオリエンテーションをしました。10月8日には、かめの日時計の花壇にアスターや矢車草などの花を植えました。また、12月2日には、春に向けてチューリップの球根を植えました。年明けには、築山の近くにヒヤシンスの球根を、トイレから南側の道沿いにムスカリの球根を植えました。そして、公園を大切にいつまでもきれいに使ってほしいという願いから12枚のポスターを作り川沿いのフェンスに設置しました。



みんなで球根を植えました

1年間の活動を3月14日に行われた第2回さくらまつりで地域の方々へ報告させていただきました。1年間を通して、地域の方々の多大なるご協力を得て、毎年3年生の学習を進めることができている。また、それに伴い、子どもたちが自分たちで公園作りに参加しているという満足感や郷土愛の育成にもつながり、教育活動の場としても小田野中央公園は大変意義のあるものだと感じます。

(平成20年度 元木小学校3年生担任 岡利和先生)



今までの元木小学校の公園づくり活動について勉強しました

2009年3月14日第2回さくら祭りを開催しました。

平成21年春は昨年より早く訪れたようで、さくら祭りの3月14日、昨年はまだ蕾だった“河津さくら”は満開を過ぎていましたが、まだ十分に一足早いさくらを楽しむ事ができました。昨年の経験を生かして、つくる会祭り準備委員会は昨年以上の“桜まつり”を企画しました。小学生や中学生の出番や地域の人たちの太鼓やお囃子、大道芸、踊り連といった得意な出し物、町会やつくる会のメンバーによる模擬店、フリーマーケットなど内容は盛り沢山でした。前日の準備作業も万端に当日を迎えましたが、朝は小雨模様。天候はよくなる予報を信じ、1時間ずらして11時からのスタートとなりました。雨除けのために予定より多くのテントを設置したり、人出の減少を見越しての調整など臨機応変の対策とりました。あいにくと小雨は止

まないままの祭りとなりましたが、太鼓の音で開催を知って訪れる人、電話で確認してやってくる人など、予想していたより多くの方が会場を訪れ、イベントや模擬店での買い物などを楽しんでくれたようです。

今回の祭は近隣の人達の協力で出来た公園で、地域の人たちが主催する祭りを地域の人たちが盛り上げることができました。祭り直後の反省会にも多くの方が参加し、「雨が降っても開催する自信がついた」など、次回のさくら祭り開催に向けての前向きな意見も多く出ました。このさくら祭りを恒例行事として根付かせたい気持ちを皆と共有できました。

【まちづくりの会会長 船引孝昭】



おりひめ会 よさこいソーラン



フリーマーケット



陣馬太鼓



川原宿囃子連



宝生寺囃子連



大道芸 バナナの叩き売り



もちつき体験



河津ざくらも満開

予定していたチェロの演奏体験は、あいにくの雨で中止となってしまいました。現場まで来て準備していただいたガスパールカサド国際チェロコンクール実行委員会のみなさま、ありがとうございました。

八王子市立恩方中学校生徒さんの感想文

「第2回さくら祭りに参加して」

僕は司会という大役を初めてさせていただきました。すごく緊張していましたが、終わったときには何かをやりとげた実感がわきました。地域の方たちと一緒にこのようなことをしたのも初めてで、自分にとって貴重な体験になりました。これからは役員会だけでなく、恩方中の生徒全員が地域の方たちと接することができる場を設けたいと思います。今回は本当にありがとうございました。

〔生徒会 会長 島田大気君〕



さくら祭のテーマは「エコ」でした。そこで僕と底押君はエコをテーマにした漫才をしました。漫才は上々の出来だと思っています。漫才を考える過程で、今地球が抱えている大きな問題について深く考えさせられました。地球温暖化とその影響です。ある国では水没の危機をむかえ、また他の国では植物の異常繁殖、新型ウイルスの発生などが起こっています。この問題を解決する策を考えました。それは、マイバッグの持参、節約するなど、一人ひとりが行わないと解決にはいたらないことです。そこで、これらを含めたことを漫才で行いました。うまく伝わっていればうれしいです。〔卒業生 鈴木龍汰君(当時3年生)〕

お祭りなのに最悪の雨。吹奏楽部としては今すぐ雨があがらないかなと思っていたが、お天道様はそんなのも無視。私たちは雨の中いざ出発。到着したら休む間もなくすぐ楽器運び。そしてぬかるんだ地面に立って演奏を始めた。いつもなら楽しいはずの演奏。やっぱり雨だから吹いていて楽しくない。それでも雨の中来てくださったお客さんのために精一杯吹いた。するとお客さんの顔が、虹がかかるようにパッと変わった。雨が降っているにもかかわらず、私たちの曲をしっかりと聞いて下さっている。とてもうれしかった。雨の演奏もアリかもしれない。



私にとって初めてのさくら祭は雨でした。もし雨ではなく晴れだったら、もっとたくさんの方が来て、もっと盛り上がっていたのかなと思い、悲しくなりました。でも、思っていた以上にぎやかで、雨が降っていることさえ忘れてしまうほどでした。私はジュースを売る担当でした。はじめは雨のせいもあってジュースの売れ行きがあまり良くなかったのですが、声を出してお客さんを呼んで

んでいるうちに、だんだんと客足が増え、ほとんどを売りきることができました。

さくら祭で私はさまざまなことを経験することができました。これからも、町の人だけでなく、さまざまな人たちにさくら祭を楽しんでもらいたいです。

〔ボランティア参加 木村七海さん〕



〔吹奏楽部 部長 柳清水愛子さん〕



